

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立長良高等学校（学校番号：3）

## 自己評価

学校教育目標	「開拓者」として広い視野と高い志をもってチャレンジし続けるとともに、様々な他者と協働し、未来を切り拓くことができる生徒を育成する。		
スクールポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、行動できるとともに、多角的な視点で物事を捉えて、よりよい問題解決を目指すことができる生徒</li> <li>・多様性の中で礼節をわきまえ、人とのつながりを大切に、自らの役割と責任を果たすことができる生徒</li> <li>・夢や希望をもって挑戦し続け、未来を切り拓くことができる健康な心身をもつ生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の自己実現に向けて、基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力を育成するための質の高い授業を創造と個々に応じたきめ細やかな</li> <li>・探究的な学びによる「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育むとともに、グローバル化に対応するコミュニケーション能力（使える英語）や国際的素養を身につけるための教育を推進</li> <li>・人間力の育成を目指した学業と部活動等の両立の推進を通して、知・徳・体のバランスのとれた指導を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学を目指し、主体的に学び、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>・多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい学校社会を築いていこうとする意欲のある生徒</li> <li>・「文武」において切磋琢磨し自己を高め、有為なリーダーを目指そうとする意欲のある生徒</li> </ul>
現状の分析	文武両道の推進をとおして進学実績とともに部活動の実績も上昇している。部活動や生徒会活動、ボランティア活動、インターンシップなどに積極的に参加しようとする生徒が多い。挨拶もしっかりでき、明朗快活な生徒が多い。また、入学希望者も多い状態が近年続いている。しかし一方で、自信がなく精神的に不安定であったり、不登校傾向で心配な生徒もいる。		
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路実現にむけた全校体制の推進と働きやすい職場づくり</li> <li>・生徒の学業と部活動の両立の推進と心身の健康</li> </ul>		
今年度の具体的な重点目標 (マニフェストより)	1 主体的な学びと夢の実現 【学習指導・進路指導】	・学習習慣の確立と学力向上・学習意欲の喚起と明確な進路目標の設定・一人一人の進路目標の実現に向けた指導体制の充実	
	2 共生力を備えた地域社会人 【学習指導・生徒指導・特別活動】	・探究学習・人権教育・情報モラル教育の推進・国内外の大学等や地域との連携充実による学びの推進・地域等への情報発信	
	3 夢に挑戦する中で培う人間力 【特別活動・生徒指導・教育環境】	・文武両道の推進・協働的な学びの充実・基本的な生活習慣の確立	
	4 働きやすい職場づくり	・職場環境改善の推進	

取組状況	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策（マニフェストより）	評価
重点目標 1	① 基礎的な知識・技能を確実に定着させ、学力の伸長を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行います。	B
	② 個別面談や大学の講義動画の活用等を通して早期からの進路目標の明確化を促すとともに、放課後補習や土曜講座、長期休暇中の補習等の効果的な実施により、その実現を目指します。	A
	③ 外部講師による研修会を開催し、教員の指導力向上を目指し、全職員による進路指導体制を推進します。	A
重点目標 2	① 命の教育や情報モラル教育を充実させ、多様性の中で互いの人格を尊重する心を育むとともに、心のサインに気づき即対応できる教育相談体制を拡充します。	A
	② 探究的な学びを通して「ふるさと岐阜」への誇りと愛着をはぐくみ、グローバル化に対応するコミュニケーション能力等を身に付けるための教育を推進します。	A
	③ HPを通じた積極的な発信により学校に対する理解を深めます。	A
重点目標 3	① 部活動への積極的な参加を促し、目標を掲げやり抜く力を身につけさせるとともに、活動の成果を全校で共有し互いに認め合い、高めあう態度を育みます。	A
	② 生徒会を中心に、時代に対応した学校行事を模索・創造する中で、協働性や問題解決力を育成します。	A
	③ 学校生活のあらゆる場面で、「凡事徹底」を合言葉に、基本的な生活習慣の確立を図ります。	B
重点目標 4	職員同士のコミュニケーションを大切にするとともに、調査や面談等により、風通しのよい職場環境づくりを目指します。	A

<p style="text-align: center;"><b>成果と課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習面への支援（ICTの効果的な活用や言語活動の充実等）をさらに研究し、生徒の学力の伸長を図る。観点別評価についても各教科での評価基準や運用についてさらに練り上げていく。</li> <li>・教員研修や教員間の学び合いで、全職員で生徒の受験指導にあたる「長良スタイル」を推進できた。生徒個々の特性を活かした進路支援に取り組むとともに、保護者への情報発信もさらに充実させていく。</li> <li>・「心のアンケート」で訴えた生徒に対して、SC等に早期につながることができた。今年度からのスクール相談員の常駐も大いに機能した。職員間での情報共有を更に活かし、生徒の小さな変化を見逃さず、ケアする体制を強固にしたい。</li> <li>・新しい長良祭を創造するとともに、生徒の活躍を校内放送やHP等で発信する場を増やした。東海大会出場などの成果を挙げた部活動が多数あった。部活動や行事等により生徒の絆づくり・居場所づくりを推進する。</li> </ul>
---	--

## 学校関係者評価（実施年月日：令和6年2月8日）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業がどんどんと探究型の学びに変化していると感じられる。</li> <li>・スクール相談員の常駐などで、生徒に寄り添う環境が整い、活用できていることがよい。</li> <li>・授業進度が早いことに驚いている。</li> <li>・進路指導について、学校全体の丁寧な根気強い指導体制がありがたい。</li> <li>・部活動が充実しているところがよい。</li> </ul>
--